平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標	2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標	1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに
重点的取組	2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

担当課名	建設部　施設整備課	
予算科目 会計	01	一般会計
予算科目 款	07	土木費
予算科目 項	04	都市計画費
予算科目 目	03	街路費

事業名	街路廿日市駅通線（駅前広場）整備事業 ＪＲ廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進（街路廿日市駅通線（駅前広場）整備事業）	事業開始年度	平成　22　年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	都市計画法

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
	廿日市駅周辺地区の市民 駅利用者 商店街利用者 など	本市の東の玄関口として、活力と魅力のある市街地を形成するため、平成28年度を目標に当該路線（駅前広場・自由通路及び周辺施設）を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体（パートナー）	事業実施に係る市役所（職員）の役割
市	ＪＲ西日本旅客鉄道株式会社	・事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明 ・用地取得，工事発注，現場管理，地元調整 ・施設整備完了後の施設管理

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

○街路廿日市駅通線（駅前広場）の整備

国道２号線とＪＲ廿日市駅を連絡する街路廿日市駅通線（県事業）にあわせて、交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため廿日市駅南口の駅前広場を整備する。
広場面積は約3,000㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。
平成23年３月に事業認可を取得し、用地測量調査等に着手した。
平成25年度は、駅前広場の調査設計業務等及び一部用地取得の契約を行った。

○街路廿日市駅構内線（自由通路）の整備

駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。
延長は約80m、幅員は6m、あわせてエレベーター2基を設置するとともに、自由通路の設置に伴い支障となるＪＲ廿日市駅の駅舎を橋上化する。
平成25年度は、自由通路に伴う駅施設及び駅構内の関連施設の移転補償及び自由通路等の詳細設計をＪＲへ委託し実施した。

○事業費関連

【歳入】

社会資本整備総合交付金（街路）	180,923,000	円
街路整備事業債（合併特例債）	378,500,000	円
		円

【歳出】

不動産鑑定手数料	84,000	円
関係機関協議資料作成業務委託料	488,250	円
自由通路等詳細設計委託料	12,500,000	円
測量調査設計業務委託料	11,268,600	円
事業用地管理工事	735,000	円

債務負担行為　千円

	H25	H26	H27	計
移転補償	495,358		212,296	707,654
－	－	－	－	
設計・工事委託	24,302	32,201	557,694	614,197
合計	519,660	32,201	769,990	1,321,851

用地購入費	14,780,000	円
JR駅施設移転補償費	516,350,013	円
家屋等補償費	24,754,900	円
事務費	39,200	円

コスト情報（円）

項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
直接事業費 A		53,084,827	580,999,963		60,480,000
財源内訳	国庫支出金	16,621,000	180,923,000		31,049,000
	県支出金				
	借入金（市債）	33,100,000	378,500,000		27,900,000
	その他（使用料など）				
	市（市税など）	3,363,827	21,576,963		1,531,000
人件費（按分）B		1.09 人 9,561,480	1.09 人 9,249,740		
総事業費（A+B）		62,646,307	590,249,703		
単位コスト換算 ①	人口（4月1日現在）	118,000 人	117,680 人		
	市民1人当たり	531	5,016		
単位コスト換算 ②			人		

目標到達度

	活動及び成果指標	単位	H 24 実績値	H 25 目標値	H 25 実績値	H 27 目標値	備考
活動	用地取得の進捗率	%	12	21	22	100	取得した面積
成果	アクセス性・利便性の向上	%					